

第3学年 中学校社会（歴史的分野）科学習指導案

令和〇年〇月〇日（ ）校時
〇〇〇学校 〇年 〇組〇名
指導者 〇〇 〇〇

【年間指導計画 3学年（ ）月計画 P（ ）】

1 単元名

第2節 高まるデモクラシーの意識

2 単元の目標

- (1) 国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる。（知識及び技能）
- (2) 世界の動きと我が国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を沖縄も含め、多面的・多角的に考察し、表現する。（考力、判断力、表現力等）
- (3) 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の歴史的分野Cの(1)「近代の日本と世界」の中から、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを理解させる。

「我が国の国民の政治的自覚の高まり」は、大正デモクラシー時期の政党政治の発達、民主主義的な思想普及、社会運動展開を取り扱うようにし、政党内閣による政党政治が展開したこと、普通選挙制が実現したこと、米騒動をはじめ、労働、農民、社会主義運動などの社会運動が行われていたこと、女性の社会的進出が進んだことに気付くことができるようにする。「文化の大衆化」は、大都市の発達や都市の人々の生活様式や意識の変化、新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り扱う。また、本県でも都市部では文化の大衆化が起こり、社会生活が変化したことに気づかせるとともに、それが戦争によって破壊され、沖縄の社会や人々の生活が変化していったことについて考え、自分なりに表現させる。

(2) 児童（生徒）観

省略

(3) 指導観

学習を進めるにあたり、単元を貫く問いを設定し、政党政治の発達、民主主義的な思想の普及、社会運動の展開を扱うことで国民の政治的自覚の高まりを、また大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化、新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを扱うことで文化の大衆化を理解させる。

そのためにも毎時間ごとの学習課題を設定し、我が国の国民の政治的自覚の現れである政党政治や社会運動等や、文化の大衆化について、資料等を用いて個あるいは班で考察し、当時を多角的な視点から適切に表現できるようにする。

本時は既習の大衆文化から同時期の沖縄の様子に疑問を持たせ、大正から昭和初期の沖縄の人々の生活や社会も変化し、社会文化が広がっていったことに気付かせるとともに、戦中、戦後と比較、考察することで沖縄の人々の生活や社会の変化について考え自分なりに表現できるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化について、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	②世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会文化の変化の様子を沖縄も含め系統立てて多面的・多角的に考察し、表現している。	③第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆文化の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

5 単元の指導と評価の計画(○時間)

※記録に残す評価の場合は○表記

欄	◎学習課題 ○学習活動	重点	記録	評価規準〈評価方法〉
1	1 護憲運動と政党内閣の成立 ◎「第一次世界大戦の影響によって、日本の政治や経済はどのように変化したか」 ○第一次世界大戦後、日本の政治や経済はどのように変化したか、資料などから読み取ったり考えたりする。	思	○	①原内閣の成立の意味や意義について、以前の内閣との成立と異なる点に着目し、初の本格的な政党内閣であったことなどを適切に読み取り、理解している。 〈ノートの記述〉 ②護憲運動について、自由民権運動との違いに着目しながら考察し、適切に表現している。 〈発言、単元S・ノートの記述〉
2	2 社会運動の高まりと普通選挙の実現 ◎「民主主義を求める社会運動は、大正時代にどのような形で展開したか」 ○大正時代は大正デモクラシーがどのように展開したのか、選挙権の拡大や様々な社会運動に着目し、資料などをもとにまとめる。	思		①大正デモクラシーという言葉が、当時の具体的な運動や政党政治の実現などをもとにして、どのような風潮を意味するのかを理解している。 〈ノートの記述〉 ②様々な人々の立場から、大正デモクラシーの時期に展開された社会運動について考察し、どのようなことをなぜ求めていたのか、適切に表現している。 〈発言、単元S・ノートの記述〉
3	3 近代都市に現れた大衆文化 ◎「大正デモクラシーの頃、人々はどのような生活を送っていたか」 ○大正から昭和初期の人々の生活や文化の変化を調べ、表にまとめることで、その背景に気付き、現在の生活文化に通じる当時の人々の生活について、自分なりに考え、表現する。	知		①大正から昭和初期の時期に広まった現代につながる文化や習慣を「衣・食・住・子ども」等に分け、表を用いて適切にまとめ、理解している。 〈ノートの記述〉 ②都市を中心に大衆文化が広まった当時の人々の生活について、他者との対話を通して、自分なりに考察し、適切に表現している。〈発言、単元S・ノートの記述〉
4	4 戦前沖縄の大衆文化 ◎「大正時代から昭和初期、沖縄の人々の社会生活はどう変わっていったか」 ○大正から昭和初期、沖縄の人々に大衆文化がおおよそ広まっていたことに気付き、その後の戦争の影響を踏まえ人々の生活の変化について考え自分なりに表現する。	思	○	①当時の生活を「衣・食・住・情報元・移動手段等」に分けて、表を用いて適切にまとめている。 〈ノートの記述〉 ②大正から昭和初期の沖縄でも一部が大衆文化が広がっていたことに気付くと共に、戦中、戦後の人々の生活や社会と比較、考察することで沖縄の人々の生活や社会の変化について考え自分なりに表現している。 〈発言、単元S・ノートの記述〉

6 本時の学習 【4 / 4 時間】

(1) 本時の目標 (本時のねらい)

大正から昭和初期の沖縄の社会や人々の生活を調べ、比較、考察することで大衆文化が一部ではあるが沖縄にも広まっていたことを理解し、その後の戦中、戦後の沖縄と比較、考察することで、大正時代からの沖縄の社会や人々の生活の変化について考え、自分なりに表現する。

(2) 本時の評価基準

評価の観点	思考・判断・表現
評価基準	大正から昭和初期の沖縄の社会や人々の生活を調べ、比較、考察することで大衆文化が一部ではあるが沖縄にも広まっていたことを理解し、その後の戦中、戦後の沖縄と比較、考察することで、大正時代からの沖縄の社会や人々の生活の変化について考え、自分なりに表現している。
評価方法	授業内：記述・発表 授業後：ノートの記述及び単元シート (単元S)

(3) 展開

過程	学習活動	○指導上の留意点 ★予想される児童生徒の反応	評価規準 (評価方法)
導入 7分	1【前時まで復習】(全) ○年表確認【全】 一斉音読後、質問を通して復習する。	○これまでの復習とその後の日本をイメージさせ、本時のポイントを押さえる。 ★統制下の生活★第二次世界大戦★沖縄戦	・年表(掲示用)の掲示
展開 後半 20分	2【学習課題の設定】(個→全) ○「大正デモクラシーの頃、日本で人々はどうのような生活を送っていましたか」 ○「この頃、大正時代から昭和初期にかけて沖縄の人々はどうのような生活をしていたのかな？」	○前時の大衆文化の生活から当時の人々の生活をイメージさせ次につなげる。 ○生徒の戦前の沖縄のイメージさせ、学習課題を設定する。 ★貧しい生活 ★かやぶき屋根で農業	・パワポ1 提示 パワポ2提示
	「大正時代から昭和初期、沖縄の人々の社会生活はどう変わっていったか」		
	3【学習課題の予想】(個→班) ○「前時と同じように予想しよう。」 ・産業、衣食住、情報元、移動手段など	○各担当が予想を根拠立てて説明し、その後班で考える。	・パワポ3提示 ・ノートへ記述
	4【学習課題の確認】(班→全) ○「ネットを使い、班での予想を調べ、調べた内容を記入し共有しよう」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「琉球から沖縄へ」(朝日新聞):全分野 https://www.asahi.com/special/okinawa/oldphoto2/ ・「デジタルミュージアム」(那覇市歴史博物館):全分野・衣食住等 http://www.rekishi-archive.city.naha.okinawa.jp/ ・「近代沖縄史料デジタルアーカイブ」:産業とインフラ・近代沖縄と新聞・沖縄県鉄道の開通式 https://ryuoki-archive.jp/kin-search/n_public/ ・「1920～30年代沖縄におけるモダンガールという問い」(伊藤るり):衣食住 http://www.igs.ocha.ac.jp/igs/IGS_publication/journal/9/journal09001.pdf ・その他 </div>	○ネットの場所を指定する。	・パワポ4提示 ・ノートへ記述 ○【知】概ね満足できる(B) 当時の生活を「衣・食・住・情報元・移動手段等」に分けて、表を用いて適切にまとめている。〈ノートの記述〉
	○「このように沖縄も産業や鉄道が発達し、新聞社が多数できました。」 ○「このことから考えると、沖縄の就学率はどうだったと思いますか」	○資料から沖縄に庶民文化が開花していた時代があったことに気づかせる。 ○グラフを提示し、1894年から急激に就学率が伸びたことを確認させる。	・パワポ5～8提示 ・パワポ9提示
5【学習課題の発展】(全) ○「この写真は先ほどから約10年、1935年頃の沖縄です。先ほどと比較し人々の生活はどう変わりましたか」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄1935写真でよみがえる戦前の沖縄」(朝日新聞) https://www.asahi.com/special/okinawa/oldphoto/ ・その他 </div>	○画像を通し、さらに発展し平穏に暮らしている時代があったことに気づかせる。	・パワポ10提示 ・ノートへ記述	
○「次はその9年後の那覇です。以前と比較して沖縄どう変わりましたか。また、その後日本はどのような時代になりますか。」	○十空襲等の画像から、戦争が一瞬にして人々の生活を破壊し、さらに戦争の時代へ変化することに気づかせる。 ★戦争に突入 ★生活苦	・パワポ11～15 提示	

終末 10分	6【のまとめ】(個⇒全) ○「これまでの学習を振り返り、大正時代から沖縄の人々の生活はどのように変わっていったかまとめてください。」 ○発展課題	○戦争を挟んで人々の生活が変化したことを、授業を振り返って、改めて考えさせる。	・パワポ 16・17提示 ・ノートへ記述 ○【思】概ね満足できる(B) 大正時代から昭和初期の沖縄の人々の生活様式と戦争の影響を受けた人々の生活を比較、考察することで沖縄の人々の生活や社会の変化について考え、自分なり表現している。 〈発言、単元S・ノートの記述〉
	「大正時代から沖縄の人々の社会生活はどう変わっていったか」		
	7【振り返り】(個) 単元シートのまとめ		

7 本時の評価の「おおむね満足できる」状況の具体例

- 「大正時代から沖縄の人々の社会生活は、～」
 - ・「戦前は一部では、新聞や雑誌、モダンガールなど本土と同じように大衆文化が栄えていた。しかし、沖縄戦で破壊されてしまった。」
 - ・「戦前沖縄でも、就学率も上がり、大衆文化が都会の一部で栄えていたが、沖縄戦で壊され生活に困窮した。」
 - ・「沖縄戦の生活苦の前、沖縄でも一部で本土と同じような大衆文化が栄えていた。」

8 板書計画

学習課題 「大正時代から昭和初期、沖縄の人々の社会生活はどう変わっていったか」

<p>1. 予想</p> <p>大正時代から昭和初期、沖縄の人々は ～ ～ ～ な生活を送っていた。</p>	<p>2. 実際</p> <p>大正時代から昭和初期の頃の沖縄の人々は ・ ～ ～ ～ ・ ～ ～ ～ な生活を送っていた。</p>
--	--

	予想	実際
衣服		
食事		
住居		
情報元		
移動手段		

↓

その後、沖縄戦へ

まとめ
大正時代から沖縄の人々の社会生活は
どう変わっていったか

※表から考えると、